

IIJ、世界シェア No.1 の Web サーバソフトウェア「NGINX」向け LDAP 認証モジュールを無償提供

-- Windows 用のアカウント・パスワードをそのまま Web のアクセス制御に利用可能に --

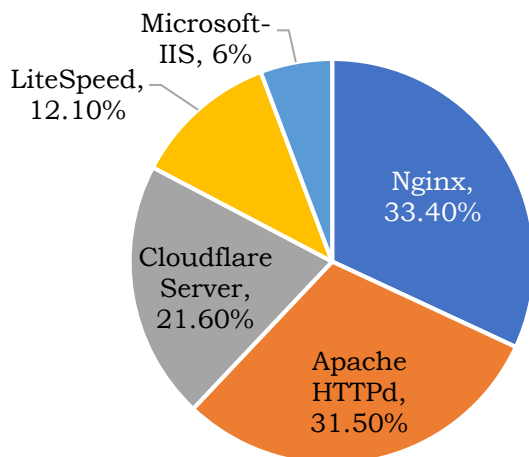
当社は、Web サイトの構築に必要な Web サーバソフトウェア「NGINX(エンジンエックス)」と組み合わせて利用する、アクセス制御機能(モジュール)「ngx_auth_mod(エンジンエックス・オース・モッド)」を開発し、本日より、ソフトウェア共有サービス「GitHub(ギットハブ)」を通じて無償で提供を開始いたします。

NGINX について

NGINX は、Igor Sysoev 氏が 2004 年に開発・公開した Web サーバソフトウェアで、高速で大量アクセスの処理に向いていることから、大規模 Web サイトや CDN などで広く使われ、現在世界で最も高いシェアを持っています(※1)。現在は NGINX, Inc.が開発を管理し、オープンソースライセンスでの無償提供、および有償の製品 NGINX Plus として提供されています。

また、NGINX には機能を拡張するためのモジュールが多数提供されており、これらのモジュールにも NGINX の一部として配布されているものと、第三者が配布しているものがあります。IIJ は今回開発した「ngx_auth_mod」を第三者配布のモジュールとして、オープンソース提供いたします。

(※1) W3Techs による調査 (2022 年 5 月時点): https://w3techs.com/technologies/overview/web_server



IIJ 開発のモジュール「ngx_auth_mod」について

NGINX を、社内ポータルサイトなどアクセス制限が必要な Web サイトで利用する際には、利用者を確認してアクセス可否を決定するための「認証モジュール」を追加する必要があります。今回 IIJ が開発した「ngx_auth_mod」は、NGINX の認証機能と社内の Windows アカウント(Active Directory)を LDAP(エルダップ)(※2)方式で連携させる機能です。ngx_auth_mod を使うことで、普段 Windows で利用しているアカウント・パスワードをそのまま Web のアクセス制御に利用でき、安全性と利便性の両立が可能になります。

NGINX 用 LDAP 認証モジュールは、これまでも他の開発者からも提供されていましたが、「ngx_auth_mod」は他のモジュールと比べてよりセキュリティに配慮した設計になっていること、さらに設定がより簡単なことが特徴です。

(※2)LDAP(Lightweight Directory Access Protocol): ネットワークを介してデータベースに問い合わせを行うための手順のひとつ。アカウント・パスワードを一括管理するサーバ(認証サーバ)に問い合わせる際に利用されることが多い。

「ngx_auth_mod」提供概要

提供形態 オープンソースライセンス(MIT ライセンス)に基づく提供 (無償提供)
提供方法 GitHub での公開
GitHub URL https://github.com/iij/nginx_auth_mod
提供開始日 2022年6月14日より公開

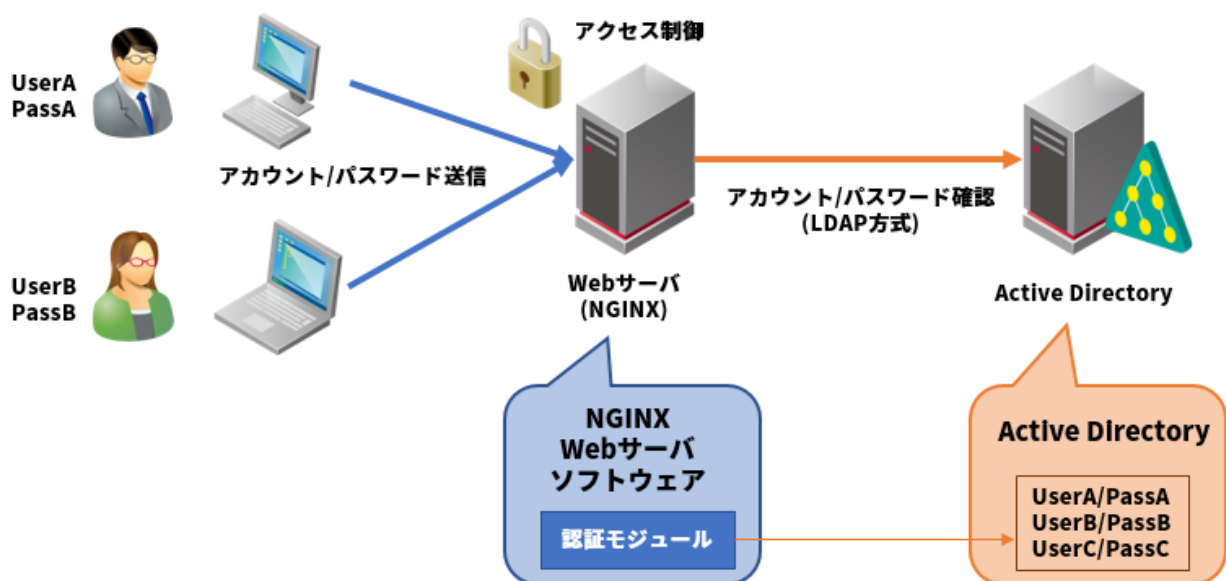
同プラグインの詳細は GitHub に掲載の説明書をご覧ください。

説明書 URL: https://github.com/iij/nginx_auth_mod/blob/master/docs_ja/README.md

また、開発者による背景の説明を IIJ エンジニアブログに掲載しています。

エンジニアブログ URL: <https://eng-blog.iij.ad.jp/archives/13747>

イメージ



IIJ は「ngx_auth_mod」の提供を通じ、より安全なインターネット利用に貢献したいと考えています。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail: press@iij.ad.jp URL: <https://www.iij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。